



(様式2)

令和7年3月12日

京丹後市議会議長 様

会 派 名 無会派
代表者氏名 佐久間仁美



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程
令和6年11月21日(木) 11:00～13:30
- 2 場所
近畿中部防衛局、近畿地方整備局
- 3 目的
 - ・山陰近畿自動車道の早期全線開通に向けて、近畿地方整備局並びに京都府に対し要望活動を行う。
 - ・緊急輸送道路に指定されている国道及び府道の整備事業について、事業主体である京都府並びにその財源支援を行っている防衛省に対して事業支援を要望する。
- 4 該当する政務活動費の使途項目
要請・陳情費
- 5 支出経費の内訳と金額
交通費 5,880 円
- 6 参加議員名
佐久間仁美

7 活動成果の概要、所見

京丹後市議会の山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟の一員として、11月21日に要望活動として近畿中部防衛局、近畿地方整備局を訪問した。

近畿中部防衛局では、今年度の防衛省全体の道路改修等事業の予算額79億円という状況の中、京丹後市内の道路事業に補助金として15億円と多くの配分をいただいていることに感謝を伝え、事業中の上野平バイパス・府道間人大宮線・外村バイパスの引き続きの支援と国道178号線の仮称屏風岩橋の早期事業化を要望した。

その後、近畿地方整備局に行き、大宮峰山インターチェンジから府県境までの全線を令和10年代に完成するよう具体的な整備の年度計画を立てて時期的な目途を明らかにするとともにその早期全線整備を図られたいこと、大宮峰山道路事業が有料事業計画に基づき令和8年までには完成するよう必要な措置を行われたいこと、網野インターチェンジから府県境までの区間について早期の都市計画決定を行うための技術的支援を行われたいこと、大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでの区間を料金徴収開始が予定されている令和7年度中のできる早期に事業化に直結した手続きの支援を行われたいことを要望した。

8 成果物、資料等

近畿中部防衛局では、令和6年1月の能登半島地震、令和6年9月の能登半島豪雨災害では半島という地形的な特徴から、中山間地域・沿岸地域などの地区において道路が寸断され、多くの集落が孤立状態となり災害対応を困難にするなど、大規模災害発生時に半島地域における道路ネットワークの脆弱性が改めて顕在化した。京丹後市内においてはまだまだ道路整備が十分ではなく、日本の安全保障上欠かすことのできない重要な防衛施設である米軍経ヶ岬通信所に対する住民理解を得る上でも道路整備が重要である。

近畿地方整備局では、山陰近畿自動車道は日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら全線事業化の目途さえ立っていない状況だが、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結する。京丹後市が将来にわたって発展していく上で重要だと感じている。

大規模災害時においても確実に機能する道路ネットワークの整備が求められていることから、国においては国土強靱化のために積極的に取り組んでいる。